

# 第 22 回 ジャパンクラシックパワーリフティング

## 選手権大会報告

2018年2月10-11日

奥武山運動公園・沖縄県立武道館第一修練場

報告・写真：IPF国際審判 物江 毅

過去最高 291 名がエントリーした J C P L 大会、2 月 10-11 日の二日間、沖縄県那覇市奥武山運動公園・沖縄県立武道館第一修練場で開催された。二日間とも最高のエントリー数に相応しい大熱戦が展開された。初日三面、二日目二面開催となり、私は陪審員・審判員・検量の業務をこなしていたため、全ての試合コートを観戦できなかった事から、報告に濃淡があるのをご容赦いただきたい。

2月10日

### 女子の部

J C P L 大会で、いつも女子のベストリフターを北村真由美さんと争う可児理恵さんが、お嬢さんの遙さんと親子で参戦した。2004 年生まれ・カレンダーイヤー 14 歳の遙さんは、一般の部の優勝も狙い 47kg 級 SJR とのダブル



可児親子で、47,52kg 級を制覇



エントリー。そのため理恵さんは遙さんとの競合を避け、52kg級にエントリーした。

BコートAグループで遙さんの試技が始まった。SQは95-102.5-110とSJR日本新の三連発でまず観戦者の度肝を抜き、BPは52.5-57.5×60、お母さん譲り得意のDLでは、これまたSJR日本新三連発125-130-137.5、TLで305kgとした。この結果、九試技成功・TL302.5kgで試技を終えた福村彩選手を上回り、見事に一般の部も制覇。JCPL大会初参戦にしてSJR&一般の部最年少優勝と

いう快挙を成し遂げた。何とDLは順手のフックグリップ、試合後理恵さんに伺ったところ、遙さんはウエイトリフティングでもオリンピック出場を目指しており、そのためフックグリップを使用しているとの事であった。何とも凄いPL界のサラブレッド超新星が現れたものである。検量体重46.95kgというのも見事としか言いようがない。

このグループに43kg級SJRでただ一名のエントリーとなった浜田華澄選手は、SQで88kg、BPで45.5kgのSJR日本記録に成功、DLは90kgでTL223.5kgで優勝、初日終了後の会場出口で私に飛び切り笑顔の挨拶をしてくれた(^\_-)☆

お嬢さんの試技終了後、Bグループ52kg級には、可児理恵さんが登場(検量体重47.05kgでこちらも見事)。安定した全試技成功を披露し、SQ117.5 BP77.5 DL152.5 TL347.5kgで二位・関西学連JRの強豪・早川琴果さんに42.5kgの差をつける圧勝であった(F.P466.99)。

57kg級JRでは大西順子選手がSQ150(一般&JR日本新)BP60 DL150.5(JR日本新) TL360.5kg(JR日本新)で優勝、一般の部で優勝した中井美貴子選手のTL320kgを40kg以上も上回り快勝した。

63kg級にはもう一人の女王・北村真由美選手が出場。七試技成功 SQ152.5 BP102.5 DL167.5 TL422.5kgという結果で、F.P456.22、ベストリフター争いは、今回は可児理恵さんに軍配が上がった。真由美さんがDL第三試技177.5kgに成功すれば、僅かに1ポイント可児理恵さんを上回るといふ僅差の勝負であった。

72kg級では、故障で昨年JCPL大会にエントリーしなかった岡田有加選手と、大会定連の強豪・竹内あい選手のバトルが展開された。

SQ得意の竹内さん第一試技で155kgに成功後、第二、三試技で166kgの日本新に挑戦、惜しくも失敗であった。岡田さんは140kg。BPでは二人とも82.5、STRで竹内さんが15kg先行した。DLに入ると竹内さんは三試技とも成功、145kgでTL382.5kgとして試技終了。DL得意の岡田さんは170-177.5に軽く成功後、第三試技で186kgの日本記録に挑戦、見事に引き切りTLを408.5kgとして優勝という結果となった。今回岡田さんと私は羽田⇄那覇の往復飛行機便が一緒、特に往きは私の前の席に岡田さんが座って



## ベストリフターは比嘉選手



私は試技が見られなかった。一般の部の結果は、佐竹優典選手がSQ197.5 BP132.5 DL247.5(日本新) TL577.5(一般・JR 日本新)で優勝、昨年競り負けた蛸原孝晴選手に雪辱を果たした。佐竹君はTXPのコーチも勤めており、私が訪問する土曜日の午後にもお世話になっている。これでフルギア&ノーギアの両方の日本記録保持者となった。多分日本PL史上初の快挙ではないだろうか(\*^\_^\*)。

66kg級は初日のハイライト。絶対王者・井上雄介選手に、池上、木内の両若手有望リフターがどう挑むか、注目のセッションであった。期待に違わぬ熱戦となった。

SQは三人ともほぼ互角、井上さん・池上君が222.5kg、木内君220kgで横一線。BPに入ると井上さんが強く167.5kg、対する池上君147.5kg、木内君142.5kg、STLで20kg以上の差がついた。ただ若者二人はDLに絶対の自信を持っている。

DLで井上さんは慎重に245kgから入り、255-260と三試技とも確実に成功、TL650kgの日本新記録で試技を終えた。対する池上君はDL第一試技252.5kgに成功、井上さんとの差を12.5kgに詰める。第二試技は263kgの日本記録に挑み引き切るが途中でバーが一瞬下がりが失敗、再び井上さんとの差が開く。木内君は255-265(日本新)に確実に成功、ただ第二試技終了時点で井上さんとは17.5kgの差、池上君も同じ差であった。この時点で若武者二人は二位狙いに標準を変更し、池上君が265kgを見事に引き切り635kgで試技終了。木内君は273kgを申請し、これを難なく引ききりTL635.5kgで試技終了。優勝井上さん、2位木内君、3位池上君という順位が確定した。絶対王者に挑んだ二人の若者、次回は雪辱に期待したい！！

74kg級は地元の英雄・比嘉善浩選手の独り舞台となった。SQ272.5(日本新) BP157.5 DL292.5 TL722.5kgで二位に77.5kgの大差をつける圧勝。DL第三試技で挑んだ305kgの日本新

いた。私の視界に入った岡田さんの左腕の三頭筋は女子選手のレベルを超えた素晴らしさであった(^\_^) 次回は是非とも北村真由美さんにTL絶対重量で挑戦していただきたいものである。

84kg級では愛知・ちからこぶジムの梅村優子選手がSQ160 BP75 DL160 TL395kgで二位に100kg差の圧勝であった。

## 男子の部

59kg級はCコートで進行し、初日終日Bコートの陪審員に入っていた



女子を引っ張る北村選手



記録もあと一歩であった。国際的にみると弱点であるBPに磨きをかけ、世界大会では頂点を目指し是非とも頑張っていたきたい！！

## 2月11日

83kg級は力が拮抗した選手が多く、接戦となった。

SQでは兵庫の梶井貴博選手が255.5kgの日本新記録に成功して先行、愛媛国体チャンプ大島逸生選手が255kg、TXPの横田正敏選手が242.5kgと続き、240kg以上が6名。

BPに入ると東京のデヴィンマクドナルド選手が強く180kgに成功(STL412.5)、伊勢崎勝史選手が170kg(STL410)、大島選手165(STL420)、横田君157.5(STL400)、梶井選手145kg(STL400.5)、愛媛国体74kg級優勝松尾賢太郎選手は150kg(STL390)とSTLで30kg以内に6名が入る大混戦となった。

DLで大島選手は255-265と確実に引き第二試技終了時点でTL685kgとし、優勝はほぼ安全圏に入る。マクドナルド選手は九試技全部成功(DL257.5)でTL670kgとして試技を終えた。伊勢崎君は250-260と成功後第三試技267.5kgを引き切れずTL670kgで終了、検量体重はマクドナルド選手の方が1kg軽い。横田君は245-262.5に成功後体重差3位を狙い270kg

に挑むも引けずTL662.5kgで終了、2位マクドナルド選手、3位伊勢崎選手、4位横田選手の順位が確定した。松尾選手は262.5kgを引きTL652.5kgで5位、梶井選手は250kgでTL650.5kgとし6位という結果となった。

試合後横田君と話したところ「やり直して福井国体で優勝を目指します！！」と力強く語ってくれた。性格温厚で腰が低く誰にでも好かれる好漢・横田君、頑張っていたきたい！！

93kg級は昨年の岡崎大会に続き大熱戦が展開された。この先10年は語り継がれるであろう名勝負となり、私はこのセッションの主審を勤めさせていただいた。

SQはJRながら一般とのダブルエントリーで優勝候補の一角である古川潤選手が260-272.5-280と三試技とも成功して先行、久保匡平選手が277.5kgでこれに続く。以下風張徹選手が255kg、TXP古賀友太郎選手255kg、落合広樹選手が250kg、昨年の覇者宇佐美清孝選手が245kgで続く。

BPでは、風張君が195kgに成功(STL450)、落合君が182.5kg(STL432.5)、宇佐美さんが180kg(STL425)、久保君165kg(STL442.5)、古賀君145kg(STL400)、古川君が147.5kg(STL427.5)という状況で、DLの強い古川君と勝負強い宇佐美さん、更に以前はDLを得意種目として270kg程度は軽く引いていた風張君がDLでどんな試技を見せるか、ノリがいい落合君も昨年の雪辱に燃えている事など、様々な思惑が絡み合い、誠にスリリングな展開となった。

DLが始まった。風張君は230-240に成功したが以前のレベルまでDLが戻っておらず第三試技245kgは引けずTL690kgで終了、久保君は第一試技240に成功後、第二試技255、第三試技260に挑むも引けずTL682.5kgで終了。落合君は255-270に成功、第三試技で観客に手拍子



を要請、テンションを高めて大歓声の中 282.5kgを見事に引き切り TL715 kgとして試技終了。新鋭の古賀君は 255-275 と成功後 290kgは失敗し TL675kgで終了し大健闘の 6 位が確定。

昨年と同様、宇佐美さんは 270-285 と成功後、落合君の DL 試技成功を見て 290kgに第三試技重量申請を変更。武道館第一修練室に集った観衆が固唾をのんで見守る中、試技が開始された。ファーストプル、浮いた！セカンドプル、ゆっくりではあるが例によって苦悶の表情で確実にバーベルを引く宇佐美さんに、落合君の時以上の大歓声が後押し！！ ついに宇佐美さんは最後まで引き切り場内は割れんばかりの大歓声に包まれた。判定は白 3、この結果宇佐美さんは TL を 715kgとして体重差で落合君をかわし暫定トップに立つ。しかし試合はまだ終わらない！ DL 得意の古川君が 290kgに重量変更、館内全員が注目の中試技が始まったが、同重量を古川君は引き切れず TL707.5kgで終了。宇佐美さんの連覇が決まった！！

試合後 4 位の風張君と久保君に話を聞いたところ宇佐美さんが 290kgを引き切り選手控えに帰ってきたとき「あと 5kgなら引ける！」と語り、それを聞いた二人は驚嘆したの事であった。また、落合君は「悔しいですが、九試技成功。やるだけのことはやりました！」と語ってくれた。

このセッション、カレンダーイヤー 30 歳以下の若手強豪選手達に、大ベテラン 48 歳の宇佐美さんが立ちはだかり、「まだまだ、覇権は渡さないぜ！！」と身をもって示した試合であった。

私の審判キャリアほぼ 20 年の中で、今回、PL に於いては過去最高の試合の主審を勤めることが出来、審判冥利に尽きた。主審にシフトして下さった阿南 JPA 技術委員長に感謝したい (^\_^) ☆

105kg級は現在日本 PL 界ノーギア最強の TXP 武田裕介選手が圧勝。SQ320(日本新) BP220(日本新) DL290 TL830kgで二位に 120kgの大差をつけた。DL 大安試技 305.5kgは 95%引き切ったと思われたときに、グリップが緩み惜しくも失敗となったが、

「世界大会で 850kg超えを必ず達成します！！」と力強く宣言してくれた。

120kg級の優勝は、阪田達也選手で DL 第三試技で 301kgの日本新記録を見事に引き切り TL758.5kg。

+120kg級は木下達人選手が TL727.5kgで優勝した。

男子ベストリフターは比嘉選手が獲得した。

こうして、過去最高 291 名エントリーの JCPL 沖縄大会は終了した。主管の沖縄協会役員の皆様、JPA 理事の皆様、全国から参集した審判員の皆様、素晴らしい大会を開催いただき、感謝申し上げます！！





最大の人数が集まった、本年度のジャパンクラシックパワー、主管の沖縄県パワーリフティング協会の皆様には、大変お世話になった。選手・役員一同、沖縄県協会に心の底から感謝。





階級	順位			氏名	所属	生年	検量 (Kg)	係数	Lot #	日本新記録(更新履歴参照):									ベストリフター:				
	一般	ジュニア	サブジュニア							SQ1	SQ2	SQ3	BP1	BP2	BP3	DL1	DL2	DL3	Best Squat	Best Bench	Best Dead lift	Total	フォーミュラスコア
-63kg	1			北村 真由美	スーパーパワーアサマ	1967	62.55	1.0798	29	137.5	150	152.5	97.5	102.5	× 106	155	167.5	× 177.5	152.5	102.5	167.5	422.5	456.22
	2	1		堤 彩夏	京都学園大学	1995	62.50	1.0805	33	135	142.5	× 147.5	72.5	77.5	80	155	167.5	× 173.5	142.5	80	167.5	390.0	421.38
			1	野村 優	京都府立農芸高校	2000	62.00	1.0871	3	120	× 135	135	70	77.5	× 82.5	155	167.5	× 175	135	77.5	167.5	380.0	413.10
	3			鈴木 恭子	スーパーパワーアサマ	1977	62.60	1.0792	26	115	125	× 135	× 60	60	65	130	140	150	125	65	150	340.0	366.91
	4			林 久子	雷神ファクトリー	1951	62.10	1.0858	28	90	105	× 110	65	67.5	70	120	125	× 130	105	70	125	300.0	325.73
	5			小野 瑞季	ノーリミッツ	1993	62.40	1.0818	25	100	107.5	110	× 45	45	× 50	125	135	140	110	45	140	295.0	319.13
			2	野口 莉奈	東京成徳大学深谷高校	2001	60.25	1.1113	5	100	× 110	× 110	50	55	60	105	115	125	100	60	125	285.0	316.72
	6			矢田 和砂	ゼウスジム	1973	61.30	1.0966	32	× 100	100	105	50	× 52.5	52.5	115	120	125	105	52.5	125	282.5	309.79
		2		来栖 彩	青山学院大学	1998	59.85	1.1171	16	90	100	112.5	45	50	× 57.5	100	110	117.5	112.5	50	117.5	280.0	312.77
	7			鉢嶺 和佳奈	Team Advance	1985	62.30	1.0831	30	× 80	80	92.5	40	× 45	45	× 105	× 115	120	92.5	45	120	257.5	278.90
8			岩井 知子	チームレスキュー	1975	59.65	1.1200	27	70	75	80	× 50	50	55	90	100	105	80	55	105	240.0	268.79	
-			芦川 聖子	TXP	1974	-	1.0740	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
-72kg	1			岡田 有加	TXP	1992	70.45	0.9905	22	135	140	× 142.5	75	82.5	× 87.5	170	177.5	186	140	82.5	186	408.5	404.61
	2			竹内 あい	個人	1989	68.60	1.0090	24	155	× 166	× 166	80	82.5	× 85	130	140	145	155	82.5	145	382.5	385.93
	3			前野 由衣	スーパーパワーアサマ	1989	68.20	1.0131	21	112.5	122.5	125	70	× 75	75	140	150	× 160	125	75	150	350.0	354.60
	4			照屋 利恵	POWERSPOT	1975	69.80	0.9968	23	110	120	122.5	75	80	× 85	125	135	137.5	122.5	80	137.5	340.0	338.92
	5			マッカーシービアンカ	ESQATIR	1988	66.45	1.0322	19	110	× 117.5	× 117.5	65	70	× 75	140	150	152.5	110	70	152.5	332.5	343.22
	6			金子 睦	TXP	1986	70.60	0.9890	18	122.5	132.5	× 140	65	70	× 75	120	130	× 137.5	132.5	70	130	332.5	328.86
		1		池田 光咲	神奈川大学	1999	70.10	0.9939	17	105	115	× 120	65	× 75	75	120	135	× 145	115	75	135	325.0	323.01
	7			鷺頭 智子	個人	1978	69.55	0.9993	20	110	× 115	× 120	× 60	60	× 62.5	120	125	130	110	60	130	300.0	299.79
			1	松本 葵	京都府立農芸高校	2001	70.45	0.9905	7	70	85	92.5	47.5	52.5	× 57.5	100	× 115	117.5	92.5	52.5	117.5	262.5	260.00
		2	バウム 百桃	常総学院高校	2000	63.10	1.0727	6	85	90	× 97.5	42.5	47.5	× 50	105	117.5	122.5	90	47.5	122.5	260.0	278.89	
-84kg	1			梅村 優子	ちからこぶ	1974	80.45	0.9122	37	× 160	160	× 167	65	70	75	145	152.5	160	160	75	160	395.0	360.31
			1	オヌ 花	常総学院高校	2000	82.35	0.9008	8	115	× 125	× 135	60	65	× 72.5	145	155	× 170	115	65	155	335.0	301.78
	2			篠崎 純子	ESOATIR	1967	73.90	0.9596	34	× 100	× 100	100	× 57.5	57.5	60	110	120	125	100	60	125	285.0	273.48
	3			後藤 啓恵	リアルスイング	1966	76.10	0.9421	36	90	100	105	45	50	55	110	115	117.5	105	55	117.5	277.5	261.44
4			中村 理歩	個人	1994	72.70	0.9698	35	92.5	100	105	50	57.5	60	100	110	× 117.5	105	60	110	275.0	266.70	



# 公式競技会記録表

(個人記録)



競技会名： 第22回 ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会

日程：平成30年2月10日(土)-11日(日) 会場：沖縄県立武道館 第1修練場

日本新記録(更新履歴参照)：

ベストリフター：

階級	順位			氏名	所属	生年	検量(Kg)	係数	Lot #	SQ1	SQ2	SQ3	BP1	BP2	BP3	DL1	DL2	DL3	日本新記録(更新履歴参照)			ベストリフター		
	一般	ジュニア	サブジュニア																Best Squat	Best Bench	Best Dead lift	Total	フォーミュラ スコア	
<b>男子の部</b>																								
-53kg			1	山田 真哉	浦和学院高等学校	2001	52.75	0.9668	1	125	135	× 135	103	107.5	× 112.5	186	195	× 205	135	107.5	195	437.5	422.96	
			2	岡田 和磨	岡崎城西高等学校	2001	51.85	0.9843	2	100	110	× 120	65	× 70	70	140	× 160	× 160	110	70	140	320.0	314.96	
-59kg	1			佐竹 優典	青山学院大学	1996	58.90	0.8675	22	190	197.5	× 202.5	120	127.5	132.5	225	237.5	247.5	197.5	132.5	247.5	577.5	501.00	
	2			蛭原 孝晴	個人	1980	58.65	0.8710	25	190	× 200	× 205	130	137.5	140	210	225	× 237.5	190	140	225	555.0	483.40	
	3			久保 元人	Ks GYM	1989	58.80	0.8689	21	155	165	172.5	105	112.5	115	220	236.5	× 248	172.5	115	236.5	524.0	455.31	
	4	1		松崎 涼	浦和学院高等学校	1999	58.08	0.8790	24	160	170	× 180	90	× 95	100	200	210	220	170	100	220	490.0	430.72	
	5			竹花 真人	パワーハウス	1988	58.90	0.8675	19	150	162.5	170	115	120	× 125	170	180	192.5	170	120	192.5	482.5	418.59	
	6			溝尾 元洋	個人	1980	58.10	0.8787	18	140	× 147.5	× 147.5	120	125	× 130	160	167.5	172.5	140	125	172.5	437.5	384.44	
			1	土屋 潤人	岡崎城西高等学校	2000	56.40	0.9041	5	150	× 165.5	× 165.5	100	105	× 113.5	160	170	180	150	105	180	435.0	393.26	
			7	向井 陽紀	個人	1987	58.90	0.8675	23	150	× 160	× 160	× 102.5	× 105	105	175	× 180	× 180	150	105	175	430.0	373.04	
			2	濱砂 水喜	春日部共栄高等学校	2000	57.35	0.8896	7	135	145	× 155	105	× 110	× 110	165	175	× 187.5	145	105	175	425.0	378.09	
			2	須田 幸哉	青山学院大学	1996	57.75	0.8838	14	130	140	150	80	90	95	160	170	× 182.5	150	95	170	415.0	366.76	
			8	根本 拓磨	パワーハルクジム	1989	58.30	0.8759	17	110	× 120	120	95	× 100	× 100	165	175	× 182.5	120	95	175	390.0	341.60	
			9	金城 幸雄	POWERSPORT	1954	58.20	0.8773	20	110	120	122.5	× 90	90	× 95	160	170	× 180	122.5	90	170	382.5	335.57	
			3	原田 晃希	ちからこぶ	1999	57.75	0.8838	16	130	135	140	70	75	× 80	145	157.5	× 162.5	140	75	157.5	372.5	329.20	
			3	山崎 悠生	京都府立農芸高校	2000	58.55	0.8724	3	120	× 130	× 130	90	× 95	× 95	160	× 180	× 202.5	120	90	160	370.0	322.78	
			4	山本 佳諒	拳上集団	1995	56.95	0.8956	13	100	120	125	× 80	80	90	70	145	× 145	125	90	145	360.0	322.42	
			4	西田 剛	ちからこぶ	2001	58.15	0.8780	4	120	132.5	× 140	60	× 65	× 65	× 140	140	155	132.5	60	155	347.5	305.11	
		5	井ノ本 航介	東北大学BB	1996	58.00	0.8802	15	110	× 117.5	120	55	60	62.5	150	× 160	× 160	120	62.5	150	332.5	292.65		
		-	水谷 綾介	東奥義塾高等学校	2001	56.00	0.9103	6	120	130	× 140	80	82.5	× 85	× 150	× 152.5	× 152.5	130	82.5	-	-	-		
		-	渡辺 雄介	ATCフィットネス	1988	58.80	0.8689	26	× 120	120	× 120	120	× 130	× 130	× 180	× 180	× 180	120	120	-	-	-		









順位			日本新記録(更新履歴参照):															ベストリフター:					
階級	一般	ジュニア	サブジュニア	氏名	所属	生年	検量(Kg)	係数	Lot #	SQ1	SQ2	SQ3	BP1	BP2	BP3	DL1	DL2	DL3	Best Squat	Best Bench	Best Dead lift	Total	フォーミュラスコア
-120kg	1			阪田 達也	兵庫個人選手会	1976	117.75	0.5775	14	262.5	× 275	275	170	177.5	182.5	262.5	285	301	275	182.5	301	758.5	438.06
	2			仲田 直樹	ノーリミッツ	1982	119.20	0.5758	17	260	270	280	185	200	× 205	245	255	265	280	200	265	745.0	428.99
		1		山川 太希	スポーツジム平良	1996	118.25	0.5769	26	255	270	× 285.5	155	× 165	× 165	270	290	300.5	270	155	300.5	725.5	418.57
	3			田邊 秀将	個人	1989	119.15	0.5759	13	245	260	270	160	170	175	235	250	260	270	175	260	705.0	406.00
		2		大原 友海	関東学連	1996	115.75	0.5801	24	240	260	270	150	160	165	235	255	× 280	270	165	255	690.0	400.24
		3		萱沼 拓也	東洋大学	1997	110.60	0.5875	25	210	225	× 240	140	× 150	150	215	230	245	225	150	245	620.0	364.26
	4			中村 敏雄	TXP	1970	111.10	0.5867	18	200	225	× 230	155	165	× 172.5	200	210	× 225	225	165	210	600.0	352.04
	5			越久田 匡利	個人	1978	116.80	0.5787	16	215	230	× 242.5	110	115	120	205	220	× 230	230	120	220	570.0	329.86
	-			関口 和矢	リアルスイング	1979	-	0.5785	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-			山崎 大介	TXP	1981	-	0.5749	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
120+kg	1			木下 進人	個人	1985	123.35	0.5714	22	240	260	270	205	215	× 222.5	210	230	242.5	270	215	242.5	727.5	415.71
	2	1		齋藤 颯太	ノーリミッツ	1995	127.00	0.5681	24	240	252.5	260	× 175	175	182.5	250	262.5	272.5	260	182.5	272.5	715.0	406.16
	3	2		山本 貴之	個人	1995	120.55	0.5743	25	240	260	275	175	185	× 192.5	230	× 255	× 267.5	275	185	230	690.0	396.28
	4			武島 多加雄	那覇ジム	1972	129.95	0.5656	20	× 240	245	260	180	185	190	190	210	225	260	190	225	675.0	381.80
	5			大城 朝史	那覇ジム	1983	129.95	0.5656	23	235	245	250	150	160	× 165	210	230	× 240	250	160	230	640.0	362.01
	6			田村 尚道	MAT	1986	128.40	0.5669	19	200	× 215	× 225	× 180	185	× 200	× 210	220	× 235	200	185	220	605.0	342.96
	7			高橋 昌弘	ESQATIR	1974	133.45	0.5630	21	220	235	× 245	125	130	× 140	205	× 220	× 225	235	130	205	570.0	320.93

以上、競技規則に則り実施しましたことを報告致します。

平成30年 2月11日

大会実行委員長(理事長) 濱里 一 印

女子クラブ対抗一覧表

一般

団体名	Team Advance			
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
47Kg	一般	浦崎 真紀	7	4
52Kg	一般	仲村 晴香	11	1
57Kg	一般	平川 美由紀	10	1
63Kg	一般	鉢嶺 和佳奈	7	4

合計	5	10
----	---	----

団体名	ゼウスジム			
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
52Kg	一般	川端 友巳	3	8
52Kg	一般	東 里映	8	3
57Kg	一般	長尾 和美	11	1
63Kg	一般	矢田 和砂	6	5

合計	4	17
----	---	----

団体名	TXP			
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
52Kg	一般	糸井 千都香	9	2
52Kg	一般	田中 亜弥	5	6
63Kg	一般	芦川 聖子	-	0
72Kg	一般	金子 睦	6	5
72Kg	一般	岡田 有加	1	12

合計	2	25
----	---	----

団体名	ノーリミッツ			
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
57Kg	一般	上林 理紗子	4	7
57Kg	一般	中野 菜	2	9
63Kg	一般	小野 瑞季	5	6

合計	3	22
----	---	----

団体名	スーパーパワーアサトレニングジム			
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
47Kg	一般	笹尾 桃子	4	7
52Kg	一般	木村 初子	4	7
52Kg	一般	磯田 あかね	7	4
57Kg	一般	赤川 智子	3	8
63Kg	一般	北村 真由美	1	12
63Kg	一般	鈴木 恭子	3	8
72Kg	一般	前野 由衣	3	8

合計	1	43
----	---	----

女子クラブ対抗一覧表

ジュニア

該当なし

女子クラブ対抗一覧表

サブジュニア

団体名	東京成徳大学深谷高等学校			
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
52Kg	S Jr	田ヶ谷 花恋	1	12
57Kg	S Jr	逸見 侑衣	1	12
63Kg	S Jr	野口 莉奈	2	9

合計	1	33
----	---	----

男子クラブ対抗一覧表

一般

団体名 TXP				
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
66Kg	一般	小林 一貴	11	1
66Kg	一般	池上 宏樹	3	8
74Kg	一般	山本 佳明	7	4
74Kg	一般	宇津木 悠	2	9
83Kg	一般	横田 正敏	4	7
93Kg	一般	村山 康平	13	1
93Kg	一般	古賀 友太郎	6	5
105Kg	一般	武田 祐介	1	12
120Kg	一般	山崎 大介	-	0
120Kg	一般	中村 敏雄	4	7

合計 1 43

団体名 BLACK SHIP				
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
66Kg	一般	田端 昌之	-	0
83Kg	一般	奥谷 仁	17	1
93Kg	一般	阿藤 聡	-	0

合計 7 1

団体名 那覇ジム				
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
74Kg	一般	山川 義博	-	0
120+Kg	一般	大城 朝史	5	6
120+Kg	一般	武島 多加雄	4	7

合計 5 13

団体名 リアルスイング				
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
66Kg	一般	伊東 優太	7	4
74Kg	一般	原田 潤	4	7
120Kg級	一般	関口 和矢	-	0

合計 6 11

団体名 ノーリミッツ				
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
66Kg	一般	吉原 健太	14	1
74Kg	一般	佐藤 亮太	8	3
83Kg	一般	デヴィンマクドナルド	2	9
83Kg	一般	大谷 朋男	22	1
93Kg	一般	風張 透	4	7
93Kg	一般	金田 一人	15	1
93Kg	一般	大岸 英樹	17	1
120Kg	一般	仲田 直樹	2	9
120+Kg	一般	斉藤 颯太	2	9

合計 2 37

団体名 パワーハルクジム				
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
74Kg	一般	稲川 学	24	1
66Kg	一般	井坂 彰良	12	1
59Kg	一般	根本 佑磨	8	3

合計 4 5

団体名 POWERSPOT				
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
59Kg	一般	金城 幸雄	9	2
66Kg	一般	瑞慶覧 勇輝	8	3
74Kg	一般	比嘉 善浩	1	12

合計 3 17



男子クラブ対抗一覧表

ジュニア

団体名	BLACK SHIP			
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
66Kg	Jr	岡本 翔太	-	0
74Kg	Jr	石嶺 翔	14	1
105Kg	Jr	清水 佑弥	5	6
105Kg	Jr	山田 友基	2	9

合計	4	16
----	---	----

団体名	岡山大学ウェイトトレーニング部			
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
74Kg	Jr	大和 勇貴	17	1
83Kg	Jr	臼井 将一郎	11	1
83Kg	Jr	八東 光司	7	4
105Kg	Jr	橋本 隆盛	4	7

合計	7	13
----	---	----

団体名	北海学園大学パワーリフティング部			
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
66Kg	Jr	齊藤 駿弥	13	1
66Kg	Jr	安田 尚記	7	4
105Kg	Jr	伊藤 壮志	3	8

合計	6	13
----	---	----

団体名	東洋大学			
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
74Kg	Jr	村上 翔太	11	1
83Kg	Jr	宇津木 啓	1	12
120Kg	Jr	菅沼 拓也	3	8

合計	3	21
----	---	----

男子クラブ対抗一覧表

サブジュニア

団体名	浦和学院高等学校パワー部			
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
53Kg	S Jr	山田 真哉	1	12
66Kg	S Jr	村瀬 伸平	1	12
74Kg	S Jr	石川 育夢	1	12
83Kg	S Jr	富田 慎之介	2	9
93Kg	S Jr	鈴木 聖也	1	12

合計	1	57
----	---	----

団体名	岡崎城西高等学校			
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
53Kg	S Jr	岡田 和磨	2	9
59Kg	S Jr	土屋 潤人	1	12
66Kg	S Jr	寺内 慎	2	9
74Kg	S Jr	阿部田 大貴	3	8
93Kg	S Jr	小柳 佑椰	4	7

合計	2	45
----	---	----

団体名	青山学院大学			
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
59Kg	Jr	須田 幸哉	2	9
66Kg	Jr	ファルキアブドゥルアス	14	1
66Kg	Jr	木内 陽介	1	12
74Kg	Jr	石川 裕士	10	1
74Kg	Jr	田中 啓介	13	1
83Kg	Jr	米山 隆人	12	1

合計	1	24
----	---	----

団体名	ちからこぶ			
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
59Kg	Jr	原田 晃希	3	8
66Kg	Jr	館林 武	5	6
74Kg	Jr	大賀 塁斗	19	1
74Kg	Jr	渡邊 俊哉	-	0

合計	5	15
----	---	----

団体名	東北大学ボディービル部			
階級	カテゴリー	氏名	順位	得点
59Kg	Jr	井ノ本 航介	5	6
66Kg	Jr	石井 宏和	12	1
74Kg	Jr	鳩山 雄基	18	1
83Kg	Jr	大澤 嵩樹	4	7
83Kg	Jr	四分一 歩	9	2
83Kg	Jr	齊藤 昌弥	13	1
93Kg	Jr	島屋 直弘	4	7

合計	2	23
----	---	----

以上、競技規則に則り実施しましたことを報告致します。

平成30年 2月11日

大会実行委員長(理事長) 濱里 一 印